

## I, 波形観察

- (1) コンセントを入れ、電源スイッチを入れる。
- (2) ウォームアップ終了後、プローブを測定部に接続する。プローブのクリップ側をアースに接続すること。
- (3) 

Auto- Scale
----------------

 スイッチを1度押すと、LED画面上に2チャンネル分の波形を適度な縦軸（電圧）・横軸（時間）に選定して、表してくれる。チャンネル1の信号（黄色）しか表示されない場合は、チャンネル2のスイッチを押して点灯させれば、チャンネル2の信号（緑色）も表示される。  
それぞれの1目盛（9mm程のマス目）が何V、あるいは何Sかは、画面下に表示される。
- (4) 2波長分程度の波形になる様に **Horizontal** の左側のつまみで調整する。横方向の位置は ◀▶ つまみで調整する。
- (5) 電圧の感度調整は、**Vertical** の上側つまみで適宜調整する。  
上下方向の位置は、 ▲▼ つまみで調整する。  
例えば、2つの波形を上下に分けるとか、センターを合わせるとか、適宜行う。
- (6) 入力信号の周波数や電圧が変わったときは、上記（4）、（5）の調整を再度行う。
- (7) 測定終了後は、電源スイッチを切る。  
他のスイッチ数は、そのままよい。

## II, リサージュ図形の表示

- (1) 2チャンネル分の波形を、上記1の要領で表示させておく。
- (2) チャンネル1とチャンネル2の縦方向の強度を、画面上でほぼ等しくなる様に、**Vertical** の上側つまみで調整する。スイッチを1度押して、**Vernier** モードにすると、微調整ができる。（もう1度押すと、元のモードに戻る。）
- (3) **Horizontal** の 

Main
Delayed

 スイッチを押すと、画面右側にメニューが出てくる。

時間軸 Y-T モードとなっているのを、その右側のスイッチを押して、時間軸 X-Y モードに変えると、リサージュ図形が表示される。右側のメニューは、20秒程で自然に消える。同じ操作を行って、時間軸 Y-T に変えると、元の2波形の表示に戻る。

- (4) 2波形の表示に戻し、**Vernier** モードも解除しておいてから、電源スイッチを切る。